

各位

党派を超えて国家的課題を追求する

公益財団法人協和協会 時代を刷新する会

両団体会長代行 岸 信 夫
両団体理事長 半 田 晴 久
交通部会長 松 本 治 男
専務理事 清 原 淳 平

交通部会のお知らせ (第259回)

日時 平成30年3月29日(木) **午後1時半～3時半**
場所 **衆議院第一議員会館 地下1階 第3会議室**
千代田区永田町2-2-1

◆国会議事堂前駅(丸の内線・南北線)①番出口より下車2分、
永田町駅(有楽町線・半蔵門線)①番出口より下車5分。当日、
午後1時より、議員会館玄関にて、通行証を差し上げます。そ
の時刻前に到着された方は、恐縮ですが、受付脇のロビーにて
お待ち下さい。会議開始後にお越しの方は、受付に「第3会議
室に行きたい」旨お伝え下されば、お迎えに参ります。

- 議 題
- 1、最近の交通情勢について
挨拶 松本治男 交通部会長(元近畿管区警察局長)
 - 2、平成30年春の全国交通安全運動の実施について
 - 3、貨物集配中の車両に係る駐車規制の見直しの推進について
 - 4、交通事故統計(2月中及び3月28日まで)
解説 警察庁交通企画課 落合大地課長補佐(警視)

報 告 去る2月27日開催の第258回交通部会は、松本治男部
会長が議長を務め行われました。

まず、松本部会長より、「最近の交通情勢について思う」と
題して開会挨拶がありました。平昌五輪では日本人選手が13
ものメダルを獲得した。特に女性の活躍が目覚ましく、何度も感
動する場面があった。スポーツでは、データを分析し、方針を決
めて強化する。交通行政も似ている。さまざまなデータを科学的
に分析し、政策を立案、交通事故を減らす努力を日々続けている
わけである。

次に、警察庁交通局交通企画課 落合大地課長補佐（警視）より、「平成29年の交通死亡事故の特徴等」について解説がありました。自転車乗用中死者数は減少傾向にはあるが、法令違反あり死者数が80%と高い水準にあり、さらなる対策を講じる必要がある。高齢運転者による死亡事故では、「認定証の恐れがある者」「認知機能が低下しているおそれがある者」の合計が約50%を占めており、認知機能の低下が死亡事故に大きな影響を及ぼしていることが分かった。

次に、「交通安全基本計画」について解説がありました。「各国の人口10万人当たりの交通事故死者数」では、日本は9位であり、スウェーデンやイギリスなどの後塵を拝しているが、2020年に1位になることを目指す。

次に、「農耕作業用自動車の交通死亡事故発生状況と主な事例等」について解説がありました。圧倒的に多いのが単独事故であり、用水路への転落、傾斜地での横転、道路走行中における追突事故が多い。シートベルトの着用、安全装備の設置働きかけなどを推進している。

次に、「交通事故統計（1月末）」について解説がありました。発生件数・負傷者数は順調に減らした。死者数は前年比では多くなったが、これは前年の成績が良すぎたためとみている。

この後、委員一同にて盛んな意見交換があり、以下のような意見が出ました。◎自転車については、保険の加入を推進していく方法を工夫したい。◎自転車乗用中死亡事故について、法令違反が80%もあることを重視すべき。特に若者が高齢者をはねている構図が見える。指導を厳しく行っていただきたい。◎高齢者研修は教習所の負担が大きく、断るところも出てきている。何か対策を考える必要がある、などの意見が出ました。

★ 資料代 会員500円
次回、3月29日（木）の交通部会（衆1）に

出・欠（いずれかに○印）

事務局宛 F A X 03-3507-8587

御芳名 _____

貴方様の F A X _____ 電話 _____

テロ対策への警備からの要請上、会員に限ります。

非会員で参加希望者は、2日前までに履歴書をご提出下さい。

（その際の会費は二千円となります。）

HP <http://www.jidaisassin.jp>

Eメール kiyohara@jidaisassin.jp